

製品名: SMG9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18021**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	SMG9 C19orf61
別名	
遺伝子 ID	56006.0
SwissProt ID	Q9H0W8
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 70-150

背景

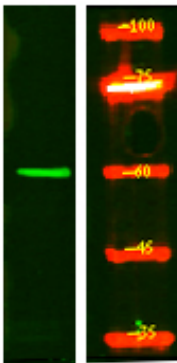
SMG9、ナンセンス依存性 mRNA 崩壊因子(SMG9) ホモサピエンス この遺伝子は、ナンセンス依存性 mRNA 崩壊(NMD)において重要な役割を果たす SMG1 複合体の調節サブユニットをコードしている。コードされているタンパク質が SMG1 複合体キナーゼスキャ

フォールドタンパク質に結合すると、そのキナーゼ活性が阻害される。この遺伝子の変異は、脳奇形、先天性心疾患などを特徴とする多発性先天異常症候群をヒト患者に引き起こす。[RefSeq 提供、2016年7月]機能:mRNA 監視複合体である SMG1C 複合体の構成要素で、ナンセンス依存性 mRNA 崩壊(NMD)を介して未熟翻訳終結コドン(PTC)を含む mRNA を認識し分解する。この複合体は、mRNP の翻訳終結時にリボソームと会合することで作用すると考えられる。エクソンジャンクション複合体 (EJC) が終結コドンから 50~55 ヌクレオチド以上下流に位置する場合、smg1 は upf1/rent1 をリン酸化してナンセンス mRNA 分解 (NMD) を誘導する。SMG1C 複合体において、SMG1 は smg1 と smg8 の効率的な会合に必要である。、PTM: SMG1 によってリン酸化される。、類似性: SMG9 ファミリーに属する。、サブユニット: SMG1C 複合体の構成要素であり、少なくとも SMG1、SMG8、および SMG9 から構成される。その後、SMG1C 複合体は未熟翻訳終結コドン (PTC) にリクルートされ、少なくとも ERF1、ERF3 (ERF3A または ERF3B) 、EEF2、UPF1/RENT1、SMG1、SMG8、および SMG9 から構成されるリボソーム: SURF 複合体を形成する。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、RNA プロセッシング

画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。